



福生二中だより

No. 3

令和 8 年 6 月 1 日発行

福生市立福生第二中学校

TEL 042(551)1970

校長 平井 貞昭

とても^{ハッピー}羽飛な素晴らしい感動をありがとう!!

第61回体育大会～「^{ハッピーターン}羽飛譚」～勝利へ羽ばたく物語～

5月23日(土)、過ごしやすい天候に恵まれ、「第61回体育大会」を実施することができました。体育大会実行委員会で作ったスローガン「^{ハッピーターン}羽飛譚～勝利へ羽ばたく物語～」を掲げ、実行委員中心に生徒主体による取組で、体育大会が行われました。スローガンにあるように、第61回体育大会の物語は、一人一人の心に確実に人生の1ページとして刻まれたはずで、それは、閉会式で、「今日は、どんな物語でしたか?」と質問したら、生徒の皆さんが一斉に「^{ハッピー}羽飛!」と答えてくれたことから分かります。この瞬間、スローガンが見事に達成されたと確信しましたし、とても嬉しく思いました。

特に3年生のパフォーマンスは圧巻でした。開閉会式では、3年生が中心となり、素晴らしい挨拶やすばらしい選手宣誓で体育大会の始めと終わりをしっかりと締めてくれました。そして、練習の時から苦勞してつくり上げてきたムカデ競争は、最後まで諦めないという魂のこもったパフォーマンスでした。また、全員リレーでは、最後のクラスがゴールするまで、3年生全員が、応援し拍手を送っている姿は、心から感動しました。3年生の姿は、これで最後ですが、間違いなく、二中の伝統をつなぎ、後輩たちにその雄姿を示したと思います。大好きな3年生、本当にありがとう!

今年も生徒の皆さんのおかげで、魅力ある学校に向けた素晴らしい体育大会となりました。それは、皆さんが楽しそうに体育大会に取り組んでいたことから分かります。たくさんの感動を与えてくれた生徒の皆さんには、心から感謝します。ありがとう!我々教員は、君たちのような素晴らしい生徒と共に過ごすことができ、とても「^{ハッピー}羽飛!」です。

最後に、体育大会当日は、本当に多くの御来賓の皆様、保護者の皆様、地域の皆様にお越しいただきましたこと心より感謝申し上げます。こうして多くの皆様に参観していただくことは、学校といたしましてもとても嬉しいことですし、学校の様子をお伝えすることができる貴重な機会と捉えております。ぜひ、参観に来られなかった皆様にも共有していただけると幸いです。

各学年の取組 ～魅力ある学校づくりに向けて～

第1学年

体育大会当日に向けて、どの学級も種目の勝敗に一喜一憂しながら取り組みました。同時に、点数の付かないところをきちんとしよう、という気持ちを大切にして、学年の練習を重ねることができました。

体育大会当日、列の後ろにいる生徒も、お手本のようなラジオ体操を見せてくれたり、しっかり手足をあげて行進したりすることができました。真面目に取り組む姿勢というのは行事当日だけでなく、行事の後の日々の過ごし方や、生き方の基本的な姿勢にもつながっていくものだと考えています。この先も、実行委員を中心に協力し、「気合いと根性」を掲げる学年らしさの溢れる、情熱的な行事を創っていくことを楽しみにしています。



第2学年

体育大会を通して、学年として大きく成長できた体育大会でした。最初の学年練習では、実行委員や先生からの指示とは違う動きを取ってしまうこともありましたが、練習を重ねるごとに、一回で指示が通ることが増えてきました。当たり前ですがとても大切なことだと思います。また、実行委員からの指示をクラスで伝達する人が出るなど、今後も必要で大切な行動を見ることができるようになりました。体育大会最後の3年生の表情を見ると、2年生としての働きを果たすことができたと感じます。

行事を日常生活につなげることはとても難しいことですが、「先を見通した行動」を取ることができるようになってほしいと思います。体育大会練習でも、座った後に何が起るかを考えて静かに待機できた人が多くいました。とても嬉しい姿です。次は期末考査に向けて、学年一丸となって頑張りましょう。



第3学年

5月11日から始まった体育大会練習では、男女別ムカデリレーや全員リレーを通して、仲間と励まし合いながら一生懸命取り組む姿が多く見られました。何度転んでも立ち上がり、声を掛け合う姿から、大きな成長を感じました。また、体育大会実行委員も準備や運営に責任感をもって取り組みました。今年のスローガン「羽飛譚（ハッピーターン）～勝利へ羽ばたく物語～」のもと、一人一人が成長し、仲間との対話を重ねながら、学年だけでなく学校全体が心を一つにして体育大会に臨みました。当日は、競技や応援に全力で取り組み、仲間を励ます声や笑顔があふれていました。最後まであきらめず挑戦する姿はとても頼もしく、学校全体の絆が深まる一日となりました。笑顔と感動に包まれた体育大会は、大成功となりました。今回の経験をこれからの学校生活にも生かし、3年生がこれからどのような物語をつくり上げていくのか、とても楽しみにしています。



二中生、地域で大活躍！

5月30日に、福生第四小学校で運動会が開催されました。そこで、二中の1年生の11名が、ボランティアとして、活躍してくれました。こうして地域に貢献することは、とても立派なことです。四小の南方校長先生も11名を褒めていました。それを聞いて私もとても嬉しくなり、自慢の生徒として誇りに思いました。1年生11名のボランティアの皆さん、本当に御苦労様でした。そしてありがとうございました。



6月の主な予定

※ 詳細は、配布済みの月行事予定表を参照してください

- 1日(月) 歯科指導(第1学年)
- 4日(木) GTEC(第3学年)、歯科指導(第1学年)、歯科検診
- 5日(金) 歯科検診
- 10日(水) 開校記念日
- 12日(金) 進路講演会・修学旅行保護者説明会(第3学年)
- 17日(水) 期末考査(技術・家庭、国語、音楽)
- 18日(木) 期末考査(社会、英語、美術)
- 19日(金) 期末考査(理科、数学、保健体育)
- 25日(木) 引き渡し訓練



保護者の皆様へ

4月29日に発生した事件の翌日と翌々日に、CS委員の皆様、PTAの皆様には、生徒の登下校時の見守りに御協力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。多くの地域の皆様と保護者の皆様に御協力いただき、生徒も安心して登下校をすることができました。本当にありがとうございました。

～ふれあい月間～

東京都では、6月を「ふれあい月間」（いじめ防止月間）と定め、いじめ、不登校、問題行動等を防止する取組を行っています。本校では、「学校いじめ防止基本方針」を定め、「どの生徒にも、どの場所でも起こり得る」という共通認識の下、その兆候を発見した場合は可及的速やかに対応しています。

また、「魅力ある学校づくり」を全校体制で推進し、未然防止にも全力で取り組んでいます。5月27日（水）には、各委員会の委員長からふれあい月間に関する取組について伝えてくれました。このように生徒たち自身でも、いじめが起こりにくい学校にするための取組を企画しています。



学校のみならず 安心して過ごせるようにするために

ルビなし



こんなことはありませんか

こっそり話したつもり...



ふざけただけ...



思ったことを
書いてだけ...



相手が嫌だと感じたら・・・それは、**いじめ**です

いじめをしては
いけないし、言葉で
決まっているのだね。

いじめを 防ぎ、いじめられた人を守るための 法律があります【いじめ防止対策推進法】



（定義）第2条 「いじめ」とは、児童等に対して（中略）他の児童が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって（中略）心身の苦痛を感じているものをいう。
（いじめの禁止）第4条 児童等は、いじめを行ってはならない。 など

いじめで苦しむ人ゼロ！あなたから始めよう！

いじめられそうになったら

- その場から離れよう。
- 相手の目を見ながら「やめて」と言って立ち去ろう。
- 安全な場所に行こう。

だれかがいじめられているのを見たら

- 学校の先生にすぐに相談しよう。
- いじめられている人を支えてあげよう。
- 勇気を出して、いじめを止めよう。

もしもいじめられたら

- いじめから守ってくれる大人（家族や学校の先生、スクールカウンセラー）に相談しよう。
- 友達に相談しよう。
- いじめがなくなるまで、何度でも相談しよう。

あなたがだれかをいじめていたら

- すぐにやめよう。
- やめたとしても、自分もいじめられるかもしれないといった不安などからやめられないときは、大人（家族や学校の先生）に相談しよう。

必ず
力になります



教育相談一般・東京都いじめ相談ホットライン

0120-53-8288

令和8年5月 東京都教育庁指導部